

まちづくり目標5

活力とにぎわいのあるまちづくり

政策 18 活力の創出

政策 19 交流の促進

施策36 産業・雇用

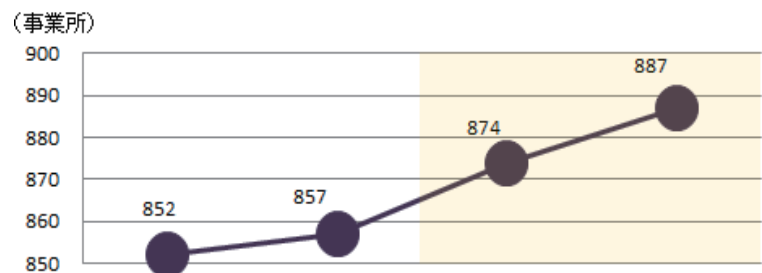
目指す姿

魅力ある商業機能が整い、活気にあふれるまち

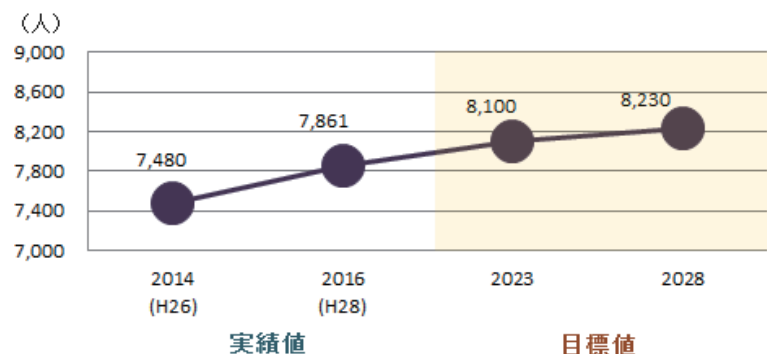
交通の利便性を生かすとともに、周辺観光地との連携のもと観光産業の振興が図られ、地域住民をはじめ、観光客、事業主が魅力を感じる、地域に根ざした活力ある商いのまちになっています。

成果指標

◆町内の事業所数



◆町内事業所の従業者数



現状と課題

◆商業の活性化

王寺町の産業構造は、飲食業・小売業・サービス業などの第3次産業が全体の90%となっており、交通の要衝である王寺駅周辺には多くの商業店舗が集積しています。2020年春にはホテルが開業予定であり、周辺の観光地と連携し、宿泊滞在型の観光を推進することで、商業の活性化につなげる必要があります。

◆にぎわいの創出

王寺町商工会主催の飲食を中心としたイベントが王寺駅周辺で開催されており、イベントへの出店を通じて、飲食店舗の認知度向上と飲食店同士のネットワーク形成が進んでいます。今後、食イベントの魅力をより一層高め、交流と情報発信の場として活性化し、新たなにぎわい創出につなげる必要があります。

◆就労対策

「王寺町地域交流センター」内にある「まっち☆ジョブ王寺〜ハローワーク〜」や「王寺町女性活躍支援センター」を活用して、就職相談や職業紹介、起業セミナー等を一体的に行っています。

特に女性の就業については、「王寺ミラクル100」を通じてライフステージに応じた多様な働き方の情報提供やライフスタイルの提案を継続して行える組織づくりと拠点づくりが必要です。

行政の主な取組

●にぎわいのあるまちづくり

◆起業の支援

新たに店舗開業を目指す事業者、町内にある空き店舗情報等の提供や経営指導等を含めた支援ができる組織づくりに取り組みます。この組織を通じて、町内で起業を希望する事業者と空き店舗所有者とのマッチングや既存事業者とのネットワークづくり、各種関係機関からの起業支援情報の提供等を行うことで、町内での起業促進に取り組みます。

◆観光振興による商業の活性化

王寺駅を起点に周辺観光地や交通事業者と連携を図りながら、町全体の商業の活性化を図り、既存事業者と新規参入事業者のマッチングや異業種交流を行う等、起業や雇用を生み出す環境づくりに取り組みます。

●魅力あるまちづくり

◆王寺駅周辺のにぎわい創出

駅前の空間を有効利用し、集客力と情報発信力が高い「まち歩きバル」、「マルシェ」、「ラーメン博」等の食イベントを実施することでエリアの認知度を高め、駅前に集積する商業店舗の活性化を図ります。

また、事業者や協定を締結している大学、金融機関と連携を図り、王寺町らしい名物料理（特産品）の開発や新規創業者の参入を促す取組を行います。

●働きやすいまちづくり

◆国（ハローワーク）・県・町の連携による働きやすい環境づくり

ハローワーク等と連携して「企業合同就職説明会」、「就職支援セミナー」や県が支援する「起業セミナー」について、継続して開催できるように回数や内容の充実に取り組みます。

◆女性の多様な働き方の提案

ICTを活用した、時間や場所にとらわれない働き方である「テレワーク」を主体とする事業所を誘致し、新たな雇用の場を創出します。また、資格や特技を生かした起業やフリーランスとしての働き方の情報提供、ネットワークづくりの支援を通じて、自分らしく働ける環境づくりに取り組みます。

また、子どもがいても安心して働くことができるよう、保育環境の整備等の子育て支援施策に取り組みます。

◆高齢者、障害者を含めた多様な働き方の推進【施策20、22再掲】

高齢者が長年培ってきた豊かな知識や技能を地域で生かすことができるよう、王寺町シルバー人材センターへの支援を通じた就業機会の確保等に取り組みます。

また、町内の福祉作業所や就労継続支援B型事業所への支援を引き続き行うとともに、障害のある人がサービスを提供する働き手として、地域で活躍できる環境や仕組みづくりに取り組むことで、多様な働き方を推進します。

役割分担

 住民の役割	 地域の役割	 団体、事業者の役割
◆産業振興によるまちづくりに理解を深めます。 ◆できる限り町内で商品を購入するようにします。 ◆起業や就職について町（公共機関）の相談窓口や支援制度等を積極的に活用します。	◆産業振興によるまちづくりに理解を深め参画します。 ◆地域内のイベント等で、地域内の商店等と連携します。 ◆地域の中で起業や就職に関する情報を共有、交換します。 ◆地域課題を把握し地域内で必要なサービスを検討します。	◆地域資源を生かした事業展開を進めます。 ◆専門的な知識や情報を提供します。 ◆女性、高齢者、障害者に多様な就業機会を提供します。

施策37 定住促進

関連する条例・分野別計画等

◆王寺町空家等対策計画

目指す姿

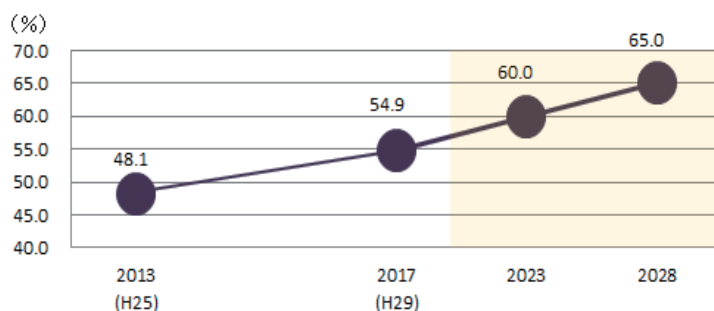
住み続けたいと思えるまち

王寺駅を中心に奈良県西和地域の中核として、「にぎわいある中心拠点」、「身近な自然環境」、「ゆとりある居住環境」、それぞれの魅力が相互に高まるまちになっています。

成果指標

◆王寺町に住み続けたいと思う人の割合

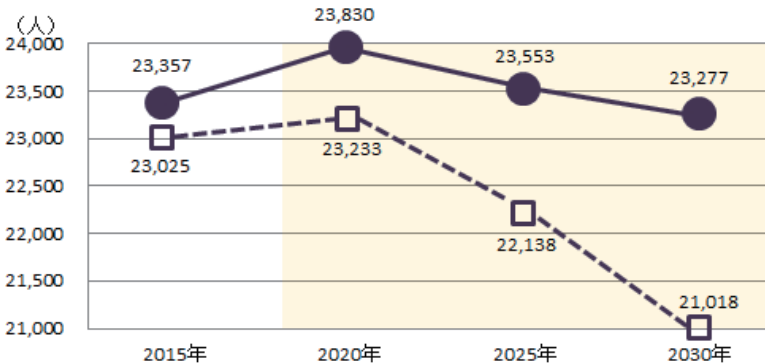
(住民アンケート調査で「今後も王寺町にずっと住む」と回答した人の割合)



※参考

「王寺町人口ビジョン」(※1)
における人口の将来予測
及び国の研究機関による
人口の将来推計(※2)

- 「王寺町人口ビジョン」
- 国の研究機関による人口推計



現状と課題

◆アンケート結果に関する分析

2018(平成30)年3月に実施した、移住者に対するアンケート調査結果によると、「王寺町を定住先にした理由」(複数回答可能)として、「通勤通学に便利(交通アクセスが良い)」(69.6%)、「以前に王寺町に住んでいた(Uターン)」(36.3%)、「子育てしやすい環境(子育て支援が多彩)」(35.6%)、「親族や知人が王寺町に在住」(33.3%)、「土地・住宅の価格」、「買い物が便利」(いずれも20.0%)といったことが挙げられました。また、「隣町に住んでいて昔から王寺町に憧れていた」という意見もありました。

一方、2017(平成29)年に実施した総合計画策定のための住民アンケート調査では、「王寺町に住み続けたい理由」(複数回答可能)として、「住み慣れたまちである」(60.0%)、「通勤・通学に便利」(44.4%)、「買い物が便利」(32.1%)が挙げられ、「王寺町を出て行く理由」としては、「医療環境が良くない」(34.1%)が挙げられました。

これらの2つのアンケート結果から、通勤・通学が便利という「交通の利便性」、買い物が便利という「日常生活の利便性」、以前に住んでいた・住み慣れているからという「ふるさと・郷土愛」が、王寺町に定住する3つの大きな理由と考えられます。

それとは逆に、王寺町から出ていく多くの理由として「医療環境の不足」が挙げられ、今後の王寺町への定住に必要な課題として「医療環境の充実」を図る必要があります。

(※1)王寺町人口ビジョン:王寺町の人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示したもの。2016(平成28)年3月策定。

(※2)国の研究機関による人口の将来推計:国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2018(平成30)年3月推計)」。

◆移住促進

定住人口の増加に大きく関係する施策として移住促進があります。2016（平成28）年度から、北葛城郡の4町で「すむ・奈良・ほかつ！移住プロジェクト」を実施し、大阪近郊に住む人をターゲットに、リージョンプロモーション（地域宣伝）を行い、移住促進に取り組んできました。プロジェクト開始以降、人口の社会動態では転出数よりも転入数が多い社会増が続いており、中でも大阪近郊からの転入が最も多く、一定の事業効果が見受けられるため、定住人口の増加に向け移住促進事業を継続する事が必要です。

◆ライフステージに応じた移住・定住ニーズへの対応

進学や就職、結婚や子育て、リタイアといったライフステージに応じて移住・定住に関するニーズが存在することから、それぞれのライフステージに対応する、移住・定住に向けて地域の魅力を高めることが重要です。

行政の主な取組

●住みやすいまちづくり

◆「王寺町立地適正化計画」に基づく施設等の誘導

2018（平成30）年3月に策定した「王寺町立地適正化計画」に基づく居住誘導区域・都市機能誘導区域への施設等の誘導を図り、拠点整備を行いつつ、人口減少の中にあっても、一定のエリアにおいて人口密度を維持し、生活サービスやコミュニティが確保されるように居住地を誘導します。

また、中心拠点である王寺駅周辺への医療施設（「奈良県西和医療センター」等の総合病院）や、商業と交通の新たな複合施設等の生活利便施設の誘導、民間活力を生かした整備を図るとともに、地方拠点である畠田駅周辺への診療所や買い物施設（スーパー）といった生活利便施設の誘導を図ります。

●移住促進

◆効果的なリージョンプロモーションの継続

まちのブランドイメージを高め、誰もが住みたいまちとなるよう、引き続き調査・研究のもと、時代に即した効果的なリージョンプロモーションを継続して実施します。

◆空き家の有効活用【施策9再掲】

家屋所有者の意向確認等、「王寺町空き家等対策計画」に基づいた取組を継続します。また、「全国版空き家・空き地バンク」の活用により、空き家の流通を促進し、空き家を活用した移住者支援を検討します。

◆ライフステージに応じた移住・定住施策

「教育のまち王寺」の実現に向けて、その基盤となる義務教育学校の整備を着実に進め、充実した学びの環境を提供するとともに、子どもの頃から自分たちの住む町の歴史や将来のまちづくりについて学ぶことで、地域を誇りに思う気持ちの醸成を促進します。また、多くの世代の交流を促す、様々な交流・体験イベントなどの定期的な実施により、地域の魅力に触れて郷土愛を育むための取組を推進します。

さらに、保育環境や親子遊び、母親同士の交流、相談の場の充実や出産から子育ての切れ目のない環境整備など、子育て支援の充実を図るとともに、親・子・孫3世代の町内での定住に対して補助を行う「3世代ファミリー定住支援」に引き続き取り組むことで若い世代の移住・定住を促進します。

また、シニア層への取組として、日本版CCRC（※3）の研究やサービス付き高齢者住宅の誘致を検討し、シニア層が担い手となった、多世代が交流する健康と生きがいと安心のまちづくりを推進します。

（※3）日本版CCRC（Continuing Care Retirement Community）：高齢者が、希望に応じて地方に移り住み、地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる生涯活躍のまち。

役割分担		
 住民の役割	 地域の役割	 団体、事業者の役割
◆定住促進に関心を持ち理解を深めます。 ◆定住促進事業（支援制度等）を積極的に活用し、バランスの取れた人口構成に寄与します。 ◆移住者を受け入れ、歓迎します。	◆定住促進事業に関心を持ち理解を深め参画します。 ◆地域の中で定住促進事業（支援制度等）の情報を共有、交換します。 ◆移住者を受け入れ、歓迎します。	◆専門的な知識や情報を提供します。

PICK UP TOPICS

町公式 Facebook

雪丸おさんぽタイムfrom王寺町
2018年8月14日

(U'w')町民盆踊り大会おーわり！！

さくじつ盛大にひらかれた盆踊り大会！
みなさん踊りましたか〜！？(U☆w☆)

ゲストの河内家菊水丸さん！川本三栄子さん！
ありがとうございました〜！

王寺の夏の風物詩として、これからも
みんなで盛り上げていきましょ〜う☆
(^ω^)(↑↑アハハ！)



施策38 観光・交流

関連する条例・分野別計画等

◆王寺町観光振興ビジョン

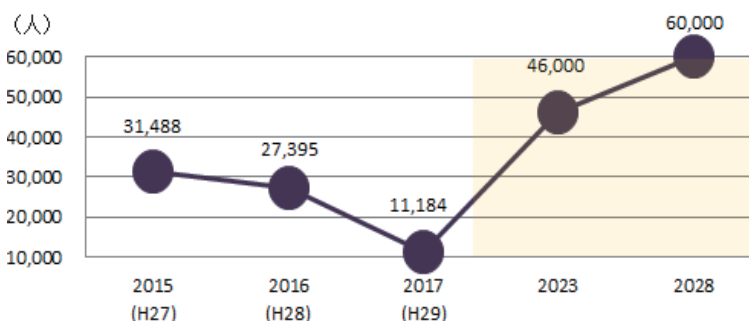
目指す姿

和の精神が息づくおもてなしのまち

豊かな自然や歴史文化遺産等、まちの観光資源を磨き上げることで、多くの人々が訪れるまちになっています。また、住民が地域への愛着と誇りを持ち、もてなしの心で観光客を迎えることで、人々の交流によるにぎわいと活気が生み出されるまちになっています。

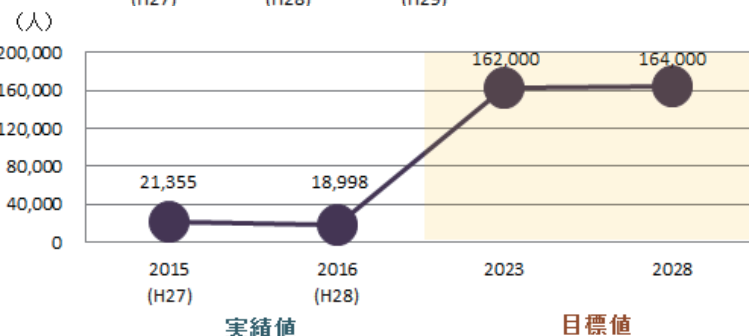
成果指標

◆町の観光入込客数



◆王寺町周辺宿泊者数

(王寺町・平群町・三郷町・斑鳩町にある宿泊施設の年間延べ宿泊者数)



実績値

目標値

現状と課題

◆町の重点観光スポットの魅力強化

聖徳太子の愛犬として伝説が残る「雪丸」の石像のある達磨寺の認知度を向上するため、「雪丸」をまちのシンボルとしてPR事業、イベントを行っています。また、奈良県指定文化財である達磨寺方丈の修復が進められており、修復後はさまざまな体験プログラムを提供する等、観光スポットとして活用する必要があります。

明神山からは、360度のパノラマが楽しめ、最古級の古墳といわれる「箸墓古墳」などの古代遺産から「あべのハルカス」や「明石海峡大橋」に代表される近代建築物まで1800年の歴史が一望できます。この歴史的な眺望をブランド化し、ハイキングや森の体験プログラム等を楽しめる場として整備し、観光資源として磨き上げる必要があります。

◆宿泊滞在型、周遊型の広域観光ルートの形成

聖徳太子没後1400年を迎える2021年に向けて、聖徳太子ゆかりの寺を巡る周遊ルートや、明神山、亀の瀬を中心としたハイキングコースの整備等、広域観光ルートを確立するとともに、関係自治体が一体となって情報発信を行うことが必要です。また、王寺駅を基点とした周遊観光のための大きなツールとして、2018(平成30)年7月にレンタカーの営業所を王寺町観光協会内に誘致、開設しており、王寺駅付近の町有地を用地として宿泊施設を誘致し、2020年春の開業を予定しています。今後、王寺駅の利便性を生かし、鉄道、バス、タクシー、レンタカー、宿泊の各事業者が連携のもと、宿泊滞在型、周遊型の広域観光を推進する必要があります。

◆広域観光を進める組織づくり

周辺市町を含めた観光による地域づくりを推進していくにあたって、その舵取り役となる主体が必要です。

◆交流人口増加につながるイベントの実施

毎年11月に開催の「王寺ミルキーウェイ（天の川）」には町内外から多くの人々が来場しています。また、地域住民等が主体となって、「鉄道のまち王寺」にふさわしい鉄道イベントが定期的に開催されています。更なるにぎわい創出に向けて、王寺町商工会をはじめとした団体や企業と連携をとりながら、魅力的なイベントを継続して実施する必要があります。

行政の主な取組

●町内観光スポットの魅力強化

◆文化財等の活用

聖徳太子の愛犬「雪丸」をまちのシンボルとして継続してPRを行うとともに、達磨寺本堂や方丈を利用して宿泊体験、寺子屋体験、達磨寺での歴史サロン講座、坐禅等の体験型プログラムを充実させます。また、西安寺跡や片岡王寺跡等、文化財の魅力向上を図りながら観光資源として活用します。

さらに、明神山の歴史的な眺望を生かしたバーチャル映像や学習プログラムの開発、自然を生かした森の体験プログラム等の開発により、貴重な観光資源として魅力向上を図ります。加えて、明神山が四季折々の花等で楽しめる場所として、より多くの人に愛されるよう、ボランティア参加型の植樹・植栽イベントを開催する等、工夫しながら整備を推進します。

●広域観光の推進

◆広域観光ルートの形成

王寺駅付近に開業する宿泊施設と連携し、「王寺町地域交流センター」で開催している歴史リレー講座等、学びの場と聖徳太子ゆかりの寺を巡るコースを組み合わせた旅のプラン等を検討します。また、明神山の歴史的な眺望を生かした新たな周遊散策コースを検討するとともに、葛城修験道、太子道、近代遺産巡り等をテーマとした、広域連携による宿泊型ハイキングプランを旅行事業者等に提案します。今後、このエリアを活性化するにはホテル誘致が効果的であることから、更なるホテル誘致に向けた環境づくりに取り組みます。

◆効果的な情報発信

観光、イベント、講演、交通、宿泊、飲食店等に関する情報を提供することができ、県内の物産が揃うアンテナショップ機能を持つ、広域観光案内所の整備に取り組みます。また、広域連携によるプロモーション活動や首都圏観光PR活動等を通じて誘客を図ります。

●広域連携でつくる「稼げる組織・地域」づくり

◆日本版DMOの組織づくり【施策7再掲】

王寺駅を基点として、周辺市町を含む広域での観光客の流れを作るため、観光関連事業者や近隣市町と連携し、日本版DMOの組織づくりに向けた検討を行います。

◆王寺町周辺における観光関連産業の交流

周辺市町を含めた観光産業の振興を図るため、宿泊、交通、飲食業等の事業者が情報交換やイベント等を通じて連携できる環境づくりに取り組みます。

●にぎわいの創出

◆イベントによる交流人口の拡大

王寺駅の利便性を生かし、「王寺ミルキーウェイ（天の川）」や鉄道愛好家による鉄道イベント、駅周辺での食をテーマとしたイベント等を定期的に開催し、王寺町商工会をはじめとした団体や企業と連携をとりながら、イベントの魅力を更に高めることによって、にぎわいの創出につなげます。

役割分担		
 住民の役割	 地域の役割	 団体、事業者の役割
◆観光・交流事業に関心を持ち理解を深め参画します。 ◆友人・知人に観光地としての魅力を伝えます。 ◆住民による観光地づくりに取り組み、訪れる観光客をおもてなしします。	◆観光・交流事業に関心を持ち、理解を深め参画します。 ◆観光資源、地域資源の保存、活用に協力します。 ◆地域でもおもてなしの心を大切にします。 ◆地域の中で観光・交流事業の情報を共有、交換します。 ◆景観や環境を保全するための住民間のルールづくりを話し合います。	◆観光客の期待に応えるサービスやおもてなしを提供します。 ◆専門的な知識や情報を提供します。

PICK UP TOPICS

町公式 Facebook



雪丸おさんぽタイムfrom王寺町

2018年6月12日

(U'w')王寺駅前に東横インが！

ほんじつ、㈱東横インさんと、王寺町とで、「王寺駅周辺町有地宿泊施設誘致事業に関する基本協定書調印式」を行いました〜〜！

客室数は191室！9階建て、高さ31メートルのホテル（写真はイメージパース）ができるのです！

2020年1月の開業に向けて、これからよろしくお願いします('w'U)!!



PICK UP TOPICS

町公式 Facebook



雪丸おさんぽタイムfrom王寺町

2018年11月20日

(U`ω`)楽しんでいただけました？

超！大盛況だったミルキーウェイの写真を掲載します！！(´ω`U)ウーイ!!!

お天気もよくって、20,000人を超える人たちが楽しんだミルキーウェイ！

みなさんの笑顔で、ぼくたちスタッフもほっこり幸せな一日となりました☆

来年！またお会いしましょう～～～(U☆ω☆)

